

# そうじや子ども会議

そうじや子ども会議は11月23日、総合福祉センターで開かれ、提言内容を仕上げる場として、調査・研究した内容の発表や意見交換を行いました。

## 提言

言の内容を煮詰める最後の機会が11月23日に開かれたそうじや子ども会議でした。

会議には、委員17人と市の幹部ら約40人が出席しま

した。まず、交通班と観光班、環境・美化班の順に、左の欄に示した内容を発表。各班とも課題や問題点を提起し、その解決策や改善点をパワーポイントを使

い、分かりやすく説明しました。指導した総社東中学校の平松高志教諭は「着眼点もよく、上手にまとめあげた」と評しました。また、各委員が市の幹部

に対し、提言内容をより掘り下げた内容の質問をし、意見交換もしました。この結果を盛り込んだものが、12月2日に市に提出された提言書となりました。

◆ 提言を終え委員からは、

「今回の委員は総社東中学校だけでしたが、市内のほかの3中学校の皆さんにも、こんなチャンスがあれば」、「市のために、少しでも協力できたことがうれし

い」などと、有意義な経験だったとの声が聞かれました。

## ■自転車の安全と学生が利用しやすい雪舟くんに



自転車で安全な道路と新生活交通「雪舟くん」の利用促進を発表。自転車については、市内の危険箇所を写真で示し、自転車通行帯や注意喚起の看板の設置などの改善が必要としました。また、雪舟くんは、若者の利用が少ないとし、学生が利用しやすい運行時間や料金を設定することと、タクシーの利用促進も併せて行うべきとしました。

## ■備中国分寺を核とした観光振興



備中国分寺を核とした観光と特産品の活用をアピール。備中国分寺の周りに市の花であるレンゲをもっと植えることや同寺に限定した写真コンテストの実施などを提案。食による観光客のリピーターに目をつけ、新たな特産品が必要としたほか、パンフレットの改善、インターネットの口コミ情報を活用した特産品の宣伝を提案しました。

## ■きれいなまち総社にするために



総社市をきれいにするため、ごみの減量や美しい自然を残すこと、美しいまちづくりが必要としました。ごみ減量のためには、マイバック持参の強化や使用済み割り箸のリサイクルを進めるべきとしました。また、豊かな自然を守り、「まちをきれいにする条例」の制定や花植え活動を進めようと力を込めました。

そうじや子ども会議が市へ提言  
**17人の思いがまちを動かす**

■問い合わせ  
こども課子育て支援係 (☎92-8268)



市の環境観光大使の野口健さんと一っしょにごみを拾い集める秦小学校の児童

# 野口健の環境学校 実体験から 環境や自然を 守る活動へ

「してほしい」と、子どもたちに語りました。

サントピア岡山総社で行われた講演には、同小の4年から6年までの児童や保護者、地域住民、ごみ減量サポーターら約330人が参加。野口さんは、ごみだらけの富士山を見て清掃活動を始め、年を追うごとに賛同者が増えてきたと話し、「続けることで、周りが変わっていく、社会の理解も得られる。あきらめないで続けることを大切にしたい」と、参加者に熱く訴え掛けました。



環境学校のなかで行われた「環境出前スクール」。市職員から物を大切にする昔生活について学ぶ秦小学校の児童

**市**の環境観光大使でアールピニスト、エベレストや富士山で清掃活動に取り組み野口健さんが講師を務める環境学校で11月22日、秦小学校の児童は清掃活動や講演を通じ、環境の

大切さを学びました。同小の4年から6年までの約40人は、野口さんと井尻野の高梁川河川敷を清掃。漂流ごみをはじめ、不法投棄されていたタイヤやテレビ、缶などを熱心に拾

い集めました。回収されたごみは軽トラック2台分。野口さんは「理屈ではなく、経験した感覚から生まれる『住んでいるまちや自然を守りたい』と思う気持ちを大切に